

## オープン市場短信 (2014年6月)

2014. 6. 11

### ◆ 5月のCP市場動向

5月のCP（短期社債）月末残高は、前月比2653億円のマイナスで13兆9874億円となった。カレンダー要因で税払いが翌月2日となり、複数の企業で月末発行を見送ったことから、発行が少なかったと指摘する向きもあった。

一般事法では前月比771億円の増加であったが、その他金融が2119億円の減少となり、金融機関で561億円減少、ABCPも664億円減少した。

発行レートの動きについては、最上位格付け銘柄については投資家の購入ニーズが強く弱含み地合いで推移した。一般銘柄（1格）は、ショートターム物ではレポレートの影響を受け、横這いから若干強含み推移であった。3か月以上のターム物については、発行案件が少ないことに加えディーラーの運用ニーズもあって、横這いから弱含み推移となっていた。

#### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0.081%。

一般事業法人（a-1格）0.089%～0.1298%。

その他金融銘柄（a-1格）0.092%～0.160%。

#### 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	5月末残高	4月末残高	増減
一般事法	36,418	35,647	771
その他金融	57,990	60,189	▲ 2,199
金融機関	29,109	29,670	▲ 561
（政府系金融	0	0	0）
（銀行等	11,841	11,591	250）
（証券	17,268	18,079	▲ 881）
ABCP	16,357	17,021	▲ 664
計	139,874	142,527	▲ 2,653

（注：買入消却分含む）

## 【格付け別の発行レート】

### 5月のCPLレートレンジ

(単位 %)

格 付	1ヶ月	2ヵ月	3ヵ月
a-1+(一般事法)	0.0810% ~ 0.0880%	0.0820% ~ 0.0970%	0.0810% ~ ——
a-1 (一般事法)	0.0890% ~ 0.1040%	0.0890% ~ 0.0980%	0.0890% ~ 0.1298%
a-1+(リース銘柄)	0.0795% ~ 0.0840%	0.0760% ~ ——	—— ~ ——
a-1 (リース銘柄)	0.1000% ~ 0.1300%	0.1014% ~ 0.1120%	0.0920% ~ 0.1600%
a-2	0.1050% ~ ケ0.25%	0.1010% ~ ケ0.35%	—— ~ ケ0.40%

#### 《CPオペ》

CP買入オペは、8日・19日・27日と3回実行され、各回4000億円にてオフア一された。

8日のオペでは、足元現先レートの低下地合いを受けたこともあって、按分・平均落札レート共に前回比低下となった。19日・27日のオペでは、ディーラーの保有玉を確実に売却したいというニーズや足元現先レートが強含みになったことを受けて、平均落札レートが上昇する結果となった。

【月末オペ残高：2兆2797億円】

#### 日銀 CP等買入れオペ実績

(単位:億円)

実施日	実行日	オフア金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
5月8日	5月13日	4,000	8,165	3,945	0.085%	0.087%	78.3%
5月19日	5月22日	4,000	7,732	3,781	0.085%	0.088%	8.9%
5月27日	5月30日	4,000	10,265	3,730	0.088%	0.090%	40.7%

#### 《ABCP》

ABCPの月末残は1兆6357億円で、前年同月を約1207億円下回る結果となった。

#### 《短期社債登録状況》

証券保管振替機構によると、5月末時点における発行登録企業数は変わらず495社であった。通算の発行企業数も変わらず、535社のままであった。

#### 《CP現先市場》

現先(S/N)レートは、連休明け以降中旬までは0.08%台前半の出合いが中心となっていたが、中旬以降レポレートの強含み地合いを受け、0.085%~0.09%台での出合いとなった。

## ◆ 6月のCP市場動向

6月のCP償還額は約3兆3100億円で、前年同月の償還額（約3兆600億円）に比べやや多くなっている（除く、相対発行分・金融機関発行CP・ABC P）。

今月の発行動向は、月後半から企業の賞与資金手当て等の資金調達ニーズが生じるため、発行額は期落ち比横這いからやや増加するだろう。期間は、1M以内のショート物の発行が多くなると思われ、発行レートは0.09%台半ば～0.100%近辺での出合いを予想する。

3M物の発行レートは、最上位銘柄については0.08%台前半から0.090%前後での出合いを予想する。また、一般銘柄では、0.090%前後～0.120%近辺を予想。その他金融・リース銘柄（a-1格銘柄）では、0.09%台前半～0.150%近辺を予想する。

### 《CPオペ》

今月は、5日（実施済）・16日・25日と、計3回の入札が何れもオファー額4500億円にて実施される予定（5月は、計3回：各回4000億円実施）。

5日のオペは、前回オペと比べ按分レート・平均レート共に強含みとなった。5月末や6月上旬スタートの発行が多かったことや、6月末期日のオペ玉売却ニーズが強かったことが上昇要因と思われる。次回以降については、足元現先レートと応札可能銘柄如何によるが、新規発行増から応札ニーズも相応に膨らむと思われるため、横這いから若干強含みを予想する。

月末オペ残高は、2兆円前後を予想する。

### 《CP現先市場》

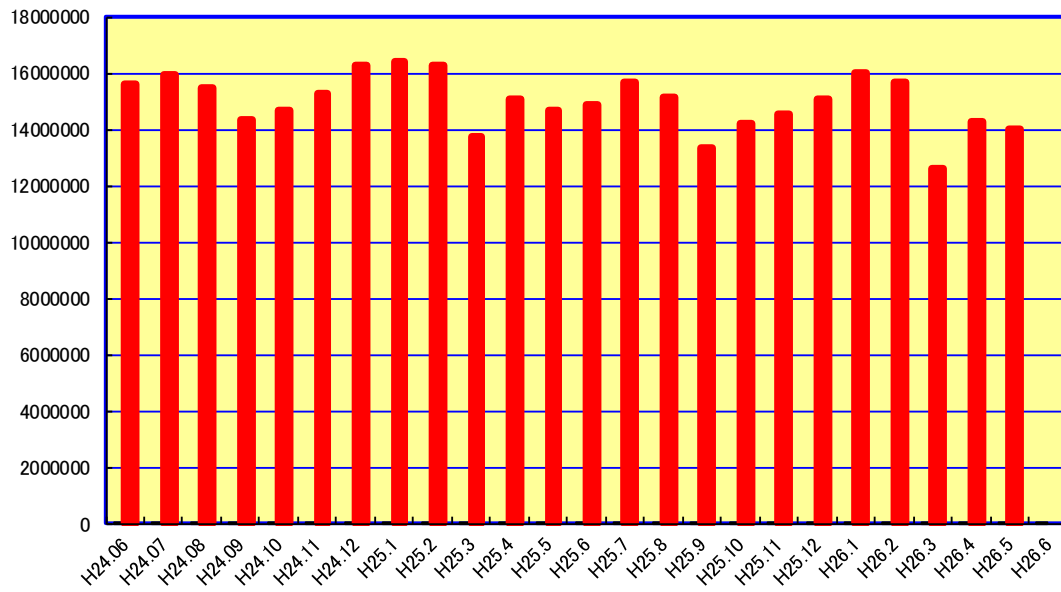
S/N物のレポレートは、0.05%台～0.09%台でのワイドレンジを予想する。インターバンクレートは、引き続き変化が少なく0.065%～0.075%近辺での推移であろう。CP現先レートは、月初0.090%近辺でスタートし、レポレートが低下した事からやや弱含み推移となった。下旬以降は、発行増によるディーラーの保有玉増加からディーラーの売却ニーズが強まると思われ、0.08%台後半～0.09%台での出合いが予想される。

**参考資料**

**短期社債月末残高**（24年6月～25年5月）

発行登録企業：495社（発行実績あり535社）

（過去2年間の残高を表示）



5月末発行残高ベスト20

5月末発行残高上位20社

(単位:百万円)

	発行企業名	5月末残高	4月末残高
1	三井住友ファイナンス&リース	820,400	814,400
2	三菱UFJリース	792,400	774,600
3	東京センチュリーリース	621,500	630,800
4	三菱UFJモルガンスタンレー証券	540,500	558,500
5	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	500,780	501,540
6	みずほフィナンシャルグループ	500,000	500,000
7	JXホールディングス	448,000	451,000
8	みずほ証券	344,900	313,300
9	JA三井リース	337,000	335,000
10	興銀リース	329,000	330,000
11	新日鐵住金	325,000	295,000
12	エイペックス・ファンディング	300,410	307,060
13	SMBC日興証券	392,400	355,000
14	芙蓉総合リース	283,700	270,700
15	大和証券	256,780	262,080
16	三菱商事	251,000	208,000
17	三井住友信託銀行	247,700	232,700
18	アルカディア・ファンディング	244,370	268,240
19	日本証券金融	236,000	313,000
20	JFEホールディングス	204,000	191,000

参考出所 (株)証券保管振替機構

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性について保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋2丁目4番2号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1丁目2番3号

加入協会 日本証券業協会